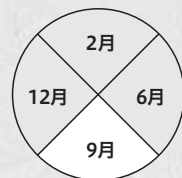


今回の定例会は



# ロクマル

市議会だよりさいたま | No.80 2019.12.1

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。



## 振り返って次に生かす さいたま市議会の決算審査

9月定例会では市の平成30年度決算を審査しました。  
皆さんがどのようなことに関心があるか、  
街頭インタビューも実施しています。

[www.city.saitama.jp/gikai/](http://www.city.saitama.jp/gikai/)



わたしは  
ここに注目  
しています

さいたま市議会の  
**決算審査**

**振り返って  
次に生かす**

市民の皆さんに、市の事業などでのようなことに関心があるか伺ってきました。さいたま市議会においても、市民の皆さんにとってより住み良いまちとなるよう、9月定例会では市の昨年度決算について審査しました。

**街頭インタビュー**  
を実施しました



インタビューは8月2日(金)に市内の公園で実施



車が多い割に道が狭かったり、信号があればと思う箇所がいくつかあります。事故を減らすためにも整備してほしいですね。



外国人居住者が日本での生活に馴染めるよう、マナー講座などの異文化交流の機会がもっとあると良いと思います。



母子家庭や生活保護家庭への支援や、すべての子どもがきちんと教育を受けられるように支援するなど、税金を有効活用してもらいたいと思います。

**Q** 市の施策や事業でどんなことに関心がありますか？



公園が多いので、よく利用します。子どもが安全に遊べる環境を確保してほしいです。小学校での英語教育ももっと増やしてほしいですね。



子育てと住み心地の良さを考え東京から戻ってきました。人口が増えている地域は小学校が足りないのでは?と思うことがあります。



公共施設は交通の便が良いところにつくってもらいたいです。あとは駅まで行くバスの本数を増やしてもらえると助かります。



医療系の仕事に携わっているので、人手不足の問題や賃金などの環境改善を考えてもらいたいです。



仕事復帰の際に保育園に入れるか心配です。妊産婦の相談窓口は充実していると思いました。

ほかにも  
こんな **ご意見** が

喫煙所の環境性能(周辺への影響など)が気になります。  
／10代 男性

神奈川から引っ越してきて、さいたま市は車がないと不便だなと感じました。  
／20代 男性

駅前などはバスの往来も多く、自転車を利用しているのでレーン整備を進めてほしいです。  
／40代 女性

震災を機に移住してきました。地震災害に強く、住み心地も良いと感じています。  
／50代 男性

区画整理や道路の整備計画など、具体的な進捗状況をもっと周知してほしいです。  
／60代 男性

美術館にしばらく行ってないので、興味深いテーマの展覧会などがあれば、ぜひ行きたいです。  
／70代 男性

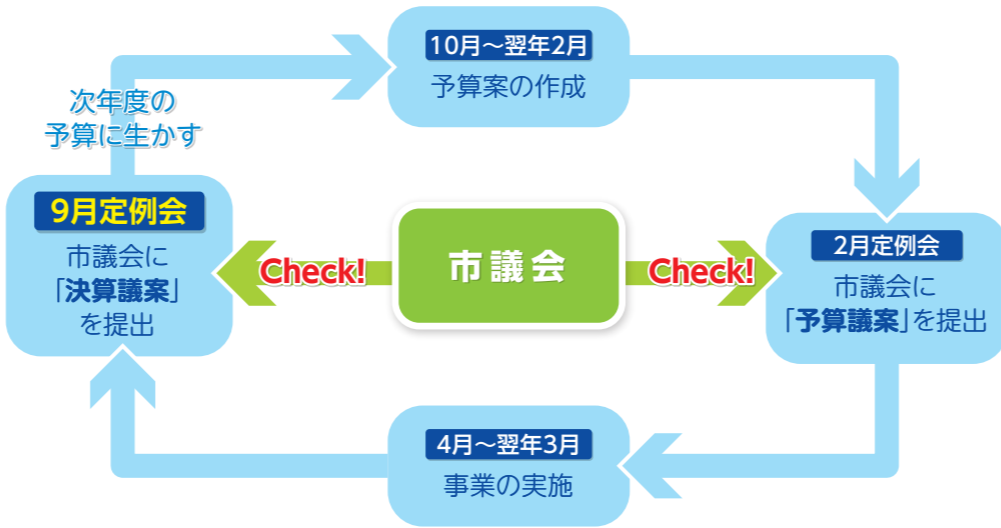
ご協力いただいた  
市民の皆さん、  
ありがとうございました。

次の予算に生かすべき **10** の提言

決算特別委員会では、審査の過程で指摘した改善点や次年度予算編成への要望などを提言書としてまとめ、議長を通じて市長に提出しました。

【提言の概要】

- 各区の地域資源や地域特性を生かした事業の展開
- 豪雨災害時の区役所間の連携、情報共有、役割分担等の課題整理
- ソーシャルメディア等を活用した戦略的な広報の展開
- 未利用の公有財産の実態調査、資産運用の視点に立った有効活用
- 時間外勤務の縮減や職場環境の整備など、働き方改革の推進
- 農地の貸し借りの調整や、遊休農地の発生防止と解消
- 専門的知識等を有するスタッフと教員の連携等による教育相談体制の充実
- 出資法人の経営状況の把握、自主財源の確保に向けた取り組み強化
- 民設放課後児童クラブに対する支援強化、新規開設による待機児童の解消
- 道路の新設、修繕等の課題を整理し、計画的・効率的な整備を推進



決算特別委員会では、市の予算が適正に執行され、効果的に事業が行われたかを集中的に審査しました。決算審査は次の予算編成につなげるための大事な審査であり、未来に向けたサイクルの一環といえます。

**予算から決算**  
そして次の予算へ

# クローズアップ

令和元年9月定例会(9月4日～10月18日/会期45日間)

議案第117号 平成30年度さいたま市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について ほか3議案

## 平成30年度決算を認定

30年度の一般会計・特別会計および、水道・病院・下水道の3つの事業会計の決算について、決算特別委員会での審査の後、本会議で採決が行われ、すべて認定されました。また、委員会では今回の決算審査を踏まえ、令和2年度の予算編成に向けた提言書をまとめ、市長に提出しました。



議員提出議案第1号 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書 ほか2議案

## 市議会から国などへ意見書を提出

議員や委員会から3件の意見書案が提出され、可決されました。可決された意見書は、国会または県などの関係行政庁に提出されます。

- 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
- 企業主導型保育事業における地方自治体との連携の強化を求める意見書
- 重度心身障害者医療費支給事業補助金の対象者の拡大を求める意見書

## 新たな特別委員会を設置

「市庁舎及び行政区の在り方検討特別委員会」および「令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会」の2つの特別委員会が新たに設置されました。

### < 市庁舎及び行政区の在り方検討特別委員会 >

委員長/鶴崎敏康 副委員長/桶本大輔 阪本克己

委員/石関洋臣 伊藤 仕 松村敏夫 青羽健仁 新藤信夫 三神尊志 土井裕之 神坂達成  
神崎 功 小森谷 優 上三信 彰 神田義行

### < 令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会 >

委員長/阪本克己 副委員長/島崎 豊

委員/土橋勇司 竹腰 連 新井森夫 金井康博 松本 翔 出雲圭子 西沢鈴子 稲川智美  
久保美樹 上三信 彰

9月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案40件、議員提出議案2件、委員会提出議案2件/合計44件

このほかの議案などの審議結果は、さいたま市議会のホームページをご覧ください。

さいたま市議会

検索



# 議員のQ&A 市のA

9月定例会「代表質問・一般質問」ダイジェスト

## 代表質問

4会派5人の議員が、市政に対する代表質問を行いました。質問の一部をご紹介します。

質問者

萩原章弘／小森谷優／神坂達成／  
中島隆一／鳥海敏行

自由民主党

いじめ防止シンプोजウム  
全員が本気で考える場に

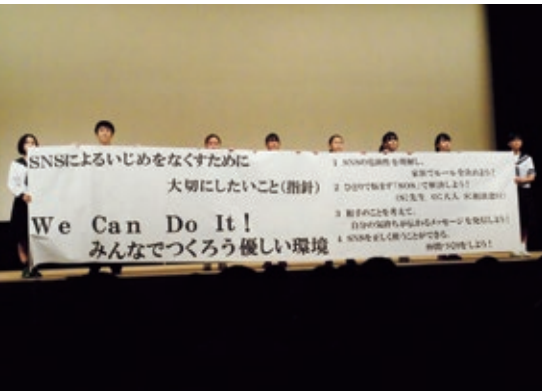
Q

今年で6回目を迎えた「いじめ防止シンプोजウム」は、生徒の研究発表や演劇など、大変感動する内容だった。今後、青少年育成団体なども含む、オールさいたま市としてさらなる取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

A

いじめは、子どもたち一人ひとりが当事者になりうることをもう一度確認し、いじめ防止シンプोजウムを、全

児童・生徒がSNSによるいじめの防止に向け自ら指針を策定しシンプोजウムで発表



員が本気で考える場としていけるよう改善していく。また、教職員や保護者、地域の方々にとっても、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた、研修の場として強化していくことも大切と考えている。すべての子どもがはつらつと学校生活を送れるよう全力で取り組んでいく。

新たに始まるセカンドライフ  
丁寧なサポートを

Q

65歳になると介護保険料の納入通知書などが届く。市長からのねぎらいの言葉とともに、高齢者向けの制度を案内してほしいと考えるが、見解を伺う。

A

本市では、第2の人生を歩もうとされる中高年層を対象に、ボランティアや就労、生涯学習など地域社会への参加を促し、生きがいづくりの支援とその活力を地域社会に還元することを目的に、セカンドライフ支援センター「り・とらいふ」を9月に開設した。今後、案内リーフレットを介護保険料の通知に同封することも考えて

おり、市民が自身にふさわしいセカンドライフを送り、生涯現役として積極的に社会参加していただくことを期待している。

公明党

学校のICT環境整備の遅れ  
危機感を持って対応を

Q

本市のICT教育環境の整備は大きく立ち遅れており、コンピュータ1台当たりの児童・生徒数は、20政令指定都市中19位である。早急に整備すべきでは。

A

社会の変化が加速度を増す中、確かな情報活用能力を育むことは喫緊の課題であり、来年度以降に全面实施となる学習指導要領にも反映されている。本市では9月に、国の示す基準を目指し、先進導入校として35校の中学校に4720台のタブレット型コンピュータを整備した。今後も導入校などの実践検証を進め、新時代の学びを支えるICT環境の整備拡充に向け検討していく。

側溝のふたを改修し  
安心安全に歩けるまちへ

**Q** 車が通る路面は劣化すると修繕されるが、歩行者が歩く路肩では側溝のふたのがたつきや隙間が放置されている。改修事業を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 県道などの一部で、幅員が狭い路線や都市計画道路などに位置付けられているがまだ事業化に至らず歩道がない路線では、歩行者は路肩を通行することになり、古い側溝の上では、部分的に歩きにくい状況になっていることは認識している。今後、幹線道路において定期的に実施している路面性状調査に併せ、側溝などの状態を把握し、可能なものは舗装修繕工事と同時に側溝のふたの掛け替えを検討していく。

電力の地産地消で環境に  
やさしく持続可能な都市へ

**Q** 東日本大震災を契機に、電力の地産地消が多く  
の自治体で進められている。本

市でも、ごみ発電やいわゆる卒FIT電力を庁舎や学校など公共施設で活用すべきでは。

**A** 本市では太陽光発電設備の導入や、分散型エネルギーの確保に積極的に取り組んできた。加えて、ごみ焼却施設での発電電力の有効活用について、新たな事業スキームを検討していきたい。現在、「省エネ・創エネ機器」設置補助事業を実施し、蓄電池の普及を推進しているが、ごみ発電の活用、卒FITへの対策など、本市が目指すべき電力の地産地消について検討を進めていきたい。

施設整備の補助を拡充し  
待機児童ゼロの実現を

**Q** 本市は待機児童数が政令指定都市で1位、全国で3位となった。この危機的状況を乗り越えるため、賃貸物件を活用した施設整備に対する補助制度を拡充すべきでは。

**A** 賃貸物件を活用した認可保育所は短期間で整備でき、保育需要に迅速に対応可能なことから、この方式による施設整備の促進を図っている。補助制度については、国と同額の3200万円を補助基準としているが、これを大きく超える改修費が必要となる案件が多い。補助の拡充は整備促進に有効であり、他市の事例や施設改修費の実態などを十分勘案し、検討したい。

歩きたくなるまちを目指し  
まちなかベンチの設置を

**Q** 超高齢社会に備え、安全で快適な歩行空間の創出が求められている。歩き疲れたらいつでも休憩できる「まちなかベンチ」を積極的に設置すべきと考えるが、見解は。

**A** 国では「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、事例の共有や政策づくりに向けた国と地方のプラットフォームにより、ウォークアブルなまちづくりを共に推進することとしている。本市も理念の方向性に賛同し、その視点を取り入れたまちづくりを進めていく。そのうえで、まちなかのベンチ設置は地域の実情や



買い物や散歩途中の休憩スポットになる「まちなかベンチ」の設置が注目される

公益上の妥当性などを踏まえ、占用許可を行っていく。

## 自民党真政

さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の展望は

**Q** 国の政策に応じ、本市でも戦略を策定し、地方創生の取り組みを行っているが、国が次期戦略策定に向け方針を示しており、市は今後どのように進めるのか。

**A** 本市「総合戦略」は基本目標に基づき、年少人口や転入超過数、事業所数など

\* FIT  
太陽光発電などの再生可能エネルギーで発電した電力を、電力会社が固定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。

の数値目標を設定し、その目標達成のため具体的施策などを定めている。施策については、KPIを設定し、毎年、達成度を検証している。次期「総合戦略」は、この検証結果や国の戦略を勘案したうえで策定し、これまでの取り組みを発展させると同時に、本市の強みなどを生かして独自の地方創生の取り組みを展開していきたい。

**与野本町駅周辺まちづくり  
3拠点の取り組み状況は**

**Q**

与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに位置付けられている3拠点のプロジェクトについて、民間活力導入に向けた取り組みを含め、進捗を伺う。

**A**

「中央区役所周辺の公共施設再編」に係る取り組みについては、対象施設などの検討を行った。今年度は地区のポテンシャルなどを調査し、民間活力導入の検討を進める。「与野中央公園整備」では、予定地内の認定道路の移設設計などを進めるとともに、公民連携事

業の導入に向けた調査を実施する。「与野本町駅周辺の利便性向上」では、駅前交通広場の改善の検討を進めている。

**日本共産党**

**地域別の最低賃金  
国に引き上げを求めるべき**

**Q**

地域別最低賃金の改定が行われ、埼玉県は時給926円となったが、本当に人間らしい暮らしが保てるのか。さらなる引き上げを国に求めるべきと考えるが、見解を伺う。

**A**

地域別最低賃金は、国の中央最低賃金審議会が示した目安を参考に、地方審議会において、物価の違いなど地域の実情に応じて決定される。埼玉県地方最低賃金審議会の答申によれば、「最低賃金は、健康で文化的な最低限度の生活を営むことができる」と決められている生活保護水準を下回っていない」とされている。決定した最低賃金額は適正であり、国に要望することは考えていない。

**一般質問**

10人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。  
質問の一部をご紹介します。

**質問者**

佐伯加寿美／傳田ひろみ／伊藤 仕／川崎照正／小川寿士／浜口健司／久保美樹／都築龍太／川村 準／吉田 一郎



**市の政策・行財政**

**\* エスディジェス  
SDGs 未来都市として  
さいたま市の取り組みは**

SDGs 推進のため、本市では企業・個人事業主・学校にどのように普及していくのか。また、日本が弱いとされるジェンダー平等の視点を入れ込む必要性の認識は。

**A**

SDGs の理念達成のためには、市民や団体、企業などの理解・協力が不可欠であり、民間企業のイベントな

どを通じ、普及啓発を行っている。ジェンダーについても重要な分野の1つと認識しており、企業や学校などとの連携が市民の認知・理解や企業などの主体的なSDGs 推進に結びつくものと考えているため、引き続き積極的に推進していく。

**市民の安心・安全を守るため  
防犯カメラの積極的な設置を**

**Q**

全国各地で安心・安全を揺るがす事件が多発している。犯罪抑止効果の高い防犯カメラを、市が単独で設置すべき時期と考えるが、市の見解を伺う。

多くの市民に利用されている浦和駅防犯カメラには犯罪抑止効果も期待される



\* SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択。「貧困の根絶」「働きがい」「気候変動への対策」など、すべての先進国と発展途上国で取り組む、2030年を時限とした17の国際目標。→裏表紙「ロクマルキーワード」でもくわしく解説しています。

\* KPI(Key Performance Indicator)

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

**A**

防犯カメラを活用した  
取り組みとしては、自  
治会への費用助成をはじめ、市  
内主要駅前広場を中心に設置を  
進めており、昨年3月には大宮  
駅西口に5台設置し、今年度は  
浦和駅前周辺でも準備を進めて  
いる。このほか公園などにも設  
置を進めており、今後はこれら  
の運用状況や犯罪発生状況など  
を踏まえて検証し、犯罪が起こ  
りやすい場所に積極的に設置で  
きるよう検討していきたい。

**DV被害者支援は急務  
ワンストップの相談体制を**

**Q**

悲惨な児童虐待事件の  
背景の一つにはDVが  
あり、暴力の根絶、被害者支援  
は急務である。ワンストップ相  
談体制の整備やステップハウス  
の運営補助を行うべきでは。

**A**

本市では、配偶者暴力  
相談支援センターで聞  
き取った状況を、本人の同意を  
得たうえで手続きが必要な窓口  
と情報共有を行い、被害者の負  
担軽減などを図っている。今後は、  
久留米市の事例など、先進的な



庁内連携会議では事例研究や情報交換を実施  
今後さらなる相談体制の充実が求められる

取り組みを参考に相談体制の充  
実を図っていく。ステップハウ  
スは、被害者が自立に向けた準  
備を進めるための、幅広い機能  
に応じた運営を行う施設であり、  
利用状況を踏まえ、財政的支援  
も検討していく。

**福祉・保健・医療**

**市職員の障がい者雇用率と  
合理的配慮の状況は**

**Q**

本市では障がい者雇用  
の不正はなかったが、  
改めて今年度の市長部局と教育  
委員会における障がい者雇用率

と、受験時および採用後の合理  
的配慮の状況について伺う。

**A**

本市の本年6月1日現  
在の障がい者雇用率は、  
市長部局2・49%、教育委員会  
2・08%である。採用選考時に  
おける合理的配慮として、申込  
書に配慮要望の記載欄を設けて  
対応しているほか、合格者への  
個別面談で配慮が必要な事項を  
確認している。また採用後には、  
全職員に対し障がい者手帳の所  
持状況などの任意報告を求め、  
拡大スクリーンの導入など、可  
能な限り対応している。

**Q**

**移動が困難な高齢者でも  
投票しやすい環境づくりを**

高齢化が急速に進む中、  
投票所に行きたくても  
行けない方々の移動手段の確保  
は今後大きな課題となる。運転  
免許証返納の気運もある中、市  
としての見解を伺う。

**A**

本市では、より多くの  
方に投票所へ足を運ん  
でいただけるよう、駅周辺や人  
の集まりやすい施設に期日前投  
票所を増設し、投票機会の拡充

に取り組んできたが、それでも  
なお難しい方が今後増えること  
が予想される。一部自治体によ  
る投票所への送迎などの取り組  
みは認識しているが、これらは  
主に山間地域でのものであり、  
今後は本市の実情に合った取り  
組みを調査・研究していく。

**保育園の申し込み  
時代に合った対応が必要**

**Q**

保育園の申し込みにお  
いて、電子申請などの  
利便性向上を図り、保護者の負  
担を軽減させることで、時代に  
合った対応をしていくべきと考  
えるが、市の見解を伺う。

**A**

本市では、平成29年度  
よりマイナンバーを用  
いた保育園の電子申請に対応し  
ている。一方で、記載誤りや添  
付書類の漏れなどによる保護者  
の負担が生じないよう、現状は  
きめ細かな対応ができる各区支  
援課や保育園での申請を勧めて  
いる。今後は、電子申請の認知  
度や利便性の向上を図る必要が  
あると考えており、手続きの正  
確性を確保しつつ、より保護者

の負担が軽減される申請の在り方を検討していく。

**健康長寿社会に向けた本市の取り組みは**

**Q**

超高齢社会において、高齢者が健康でいきいきと暮らすため、老人の日および老人週間に、市ではどのような取り組みを実施しているのか。

**A**

本市では、各区の最高齢の男女に祝状、記念品、花束を贈呈するとともに、年度内に100歳を迎える方に内閣総理大臣からの祝状などを贈呈している。また、9月15日現在、満75、80、85、90、95歳および100歳以上の方への敬老祝金の贈呈や、地区社会福祉協議会などが開催する敬老会を支援している。今後も高齢者への敬愛の念を深めるため、長寿を尊ぶ地域社会づくりに取り組んでいく。

**\* レスパイトケアを拡充し 介護者の負担軽減を**

**Q**

重度の心身障がい児へのレスパイトケア事業

の対象者を拡充し、医療的ケアが必要な障がい児とその家族の負担軽減を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

**A**

本市では、高度な医療的ケアが必要な「超重症心身障がい児者」を対象に、受け入れ施設に対する補助を行っている。県が昨年度に対象を「重症心身障がい児者」へ拡大したことを受け、本市も事業の拡大を検討するため、施設への聞き取り調査により実態の把握に努めてきた。来年度に向け、重症心身障がい児者へのレスパイトケア事業の実施を最優先課題の一つとして取り組んでいきたい。

**困難を抱えるひとり親家庭にもっと積極的な支援を**

**Q**

ひとり親家庭への支援について、国では積極的な法整備が進められている。本市において、様々な困難を抱える方々に寄り添った支援が本当に行われているのか。

**A**

本市では、ひとり親家庭の就業や自立に向けた個々の相談に応じるため、「さ

いたま市ひとり親家庭就業・自立支援センター」を設置し、専門員がひとり親家庭の様々な困難な事例に対し、きめ細かな対応を行っている。今後も事業の目的を十分踏まえながら、ひとり親家庭の方々に寄り添った支援を行うことで、より「しあわせ」を感じていただけるよう、事業を推進していく。

**さいたま市立病院に精神科外来の開設を**

**Q**

市立病院に精神障がい者の入院病床が設置されることとなったが、精神科外来がない。ぜひ外来も開設し、常勤の精神科医師を増やしていくべきと考えるが、見解は。

**A**

精神科病床の開設に当たっては、精神疾患に身体疾患が合併した患者に対応すべく、精神科身体合併症病棟として整備を進め、主に入院を中心とした診療から開始することとして準備を進めている。将来的には身体合併症の外来でのフォローアップも必要になると考えており、常勤精神科医師の

さらなる確保に努め、外来診療が行えるよう体制を強化していきたい。

**教育・文化**

**市民に身近な公民館 地域や人をつなげる場に**

**Q**

公民館の活性化は、職員体制や環境改善、ビジョン策定を三位一体で進めるべき。様々な困難を抱える方の声をつなぐ機能も加え、新たな公民館ビジョンを策定しては。

**A**

ビジョン策定に当たっては、公民館運営審議

地域住民交流の場としても期待される公民館（写真は美国公民館実施の「うたカフェ」）



**\* レスパイトケア**

介護者が、一時的に介護から離れて休息し、リフレッシュしてもらうための支援を行うことで、その負担軽減を図ること。



会から提言された、職員のコーディネート能力などの向上について考慮するとともに、職員の声も反映させていく。さらに、公民連携を積極的に導入し、支援につなげる機能など公民館が他の機関と連携する必要性もビジョンに生かしていく。現在、ビジョンの素案づくりの進め方などの検討を始めており、令和2年度中に策定したい。

**4校ある市立高等学校  
特色ある学校づくりを**

**Q** 社会が大きく変化する中、生徒一人ひとりの個性を生かし、その能力を十分に伸ばす特色ある教育活動を展開する必要がある。各市立高校のこれまでの取り組みを伺う。

**A** 浦和高校は浦和中学校併設の中高一貫教育校となり、浦和南高校は進学重視型単位制高校へ移行するとともに、人口芝グラウンドを整備した。大宮北高校では理数科を設置後、\*スーパーサイエンスハイスクールに指定されている。大宮西高校は\*国際バカロレア教育



国からSSHに指定された大宮北高校各校が特色ある学校づくりを進めている

を柱とする大宮国際中等教育学校へ改編し、新たなスタートを切るなど、各学校の伝統を生かした特色ある学校づくりを推進している。



**まちづくり・環境**

**公園や学校の遊具  
一日も早い安全対策を**

**Q** 市内の公園で使用中止となつている遊具の現状と今後の対応は。また、学校内の遊具は公園と同様の安全対策をしているのか。一日も早い対応が必要ではないか。



**A** 都市公園の遊具は、安全基準が強化され、問題のある遊具については措置を行うよう国から通知があった。これを受け、遊具のうち約2割に当たる776基を使用中止としたが、既に再開済みの遊具を含め、来年度までに655基の使用再開を目指し、計画的に修繕を進めている。修繕で対応が難しい121基の遊具の更新は、5年以内に終えたい。学校の遊具は現在点検を実施しており、その結果を待ち速やかに対応していく。

**東浦和駅前公衆トイレ  
建て替えを検討すべき**

**Q** オリンピック会場からも近い東浦和駅前には、設置から31年経過した公衆トイレがあるが、故障が多く悪臭などの問題も度々生じている。建て替えるべきでは。

**A** 公衆トイレは、他の公衆施設と比較して小規模であるため、予防保全は行わないこととしており、現時点では大規模改修や建て替えの予定はない。故障の発生に応じて個

**浦和駒場スタジアム  
今後の利活用は**

別修繕で対応しており、新たな試みとして排水管の高圧洗浄などの対策を講じている。しかしながら、東浦和駅前のトイレは、経年劣化による故障が頻発しており、建て替えや大規模改修も含め、協議を進めていく。



**Q** 浦和駒場スタジアムは施設の老朽化などの課題がある。浦和レッズの試合が駒場で行われることで、地域の活性化にもつながると考えるが、改修の状況と今後の見通しは。



**A** 現在、同スタジアムは照明灯改修工事を行っており、照度の改善によりリーグやルヴァンカップなどの開催が可能となる。また、トイレの洋式化や老朽化した施設の改修を行うことで、各大会を誘致しやすい環境をつくっていきたい。女子のリーグ戦は、本格的にプロ化を図る準備を進めていくと伺っており、同スタジアムの女子サッカーの聖地化を目指して取り組んでいきたい。

\* 国際バカロレア  
国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。

\* スーパーサイエンスハイスクール(SSH)  
国が先進的な理数教育を実施する高等学校を指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験などを通じた体験的な学習などを支援する。



## ○ 生徒・児童が市議会を傍聴・見学しました

主権者教育推進のため、市立浦和高等学校、浦和南高等学校、大宮北高等学校の生徒が市議会を訪れ、本会議を傍聴しました。また、高砂小学校の児童が本会議場を見学しました。今後も、市議会や市政に関心をもってもらえるよう、積極的に協力してまいります。本会議や委員会はどなたでも傍聴できますので、皆様ぜひお越しください。



生徒約50人が代表質問の様子を真剣な眼差しで傍聴(6月定例会)



児童からは「議員になりたい!」なんて嬉しい感想も

## ○ 年末年始のごあいさつは失礼させていただきます

公職選挙法の規定により、議員が選挙区内の人に年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されております。そのため、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。

さいたま市議会議員一同

### 公職選挙法では選挙区内においてこのようなことが禁止されています。

議員が年賀状や寒中見舞いなどのあいさつ状を出すこと

(答礼のための自筆によるものは除く)



議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること



議員や後援会があいさつを目的とした有料の広告を出すこと



市民や団体などが議員に対し寄附を求めること



## ○ 請願・陳情を市議会に届けるには?

市政などについての意見や要望があるときは、どなたでも「請願」「陳情」を文書で市議会に提出することができます。

### 請願

請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。審査のうえ、本会議で「採択」「不採択」などが決められます。「採択」された請願は市長などに送り、実現するよう要請します。

### 陳情

陳情書の提出には、市議会議員の紹介は必要ありません。陳情内容が記載された陳情文書表を議員に配付します。

### 提出先など

提出先:さいたま市議会 議会局

提出方法:持参または郵送(FAXや電子メールは不可)

くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

### 請願書 (陳情書)

紹介議員 \_\_\_\_\_ 印  
(議員1人以上)

(表紙)

陳情書の場合は必要ありません。

件名 \_\_\_\_\_  
趣旨 \_\_\_\_\_  
理由 \_\_\_\_\_

以上、地方自治法第124条の規定により請願します。

令和 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

さいたま市議会議員長 \_\_\_\_\_ 様

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

(本文)

陳情書の場合は、「以上のとおり陳情します」に。

ロクマル キーワード  
**Keyword**

9月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。

『SDGs未来都市』

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

誰一人取り残されない社会の実現を

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」のことで、2015年9月の国連サミットで採択されました。17の目標と169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓った行動指針です。この理念に沿った取り組みを推進しようとする都市の中から、特に経済・社会・環境における新しい価値創出を通じて持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市を政府が選定したのが「SDGs未来都市」です。

「住みやすい」「住み続けたい」都市へ

本市は、「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」や「東日本連携事業」、「スマートシティ」などこれまでの取り組みに加え、(仮称)E-KIZUNAグローバルサミット開催等を提案し、本年7月にSDGs未来都市に選定されました。今後も、市民や企業・団体などと連携・協働しながら各種施策を推進していくことで、2030年に向けて、誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思えるさいたま市の実現に取り組んでいくこととしています。

編集後記

議会広報編集委員会

今号のトピックスでは、まちに出て、市民の皆様に市の事業に関する率直なご意見をお聴きしてまいりました。そういった市民の「声」に十分に耳を傾け、行政サービスの質を高めていかなければなりません。市議会では、今後も市民の代表として、その役割を果たすべく活動をしてまいります。議会の活動は、「ロクマル」をはじめ、議会中継やホームページなどを通じて広くお伝えしていきます。インタビューにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

- 〔委員長〕 渋谷佳孝   〔副委員長〕 高柳俊哉  
〔委員〕 土橋勇司   照喜納弘志   竹腰 連  
          金井康博   佐伯加寿美   江原大輔  
          富田かおり   小川寿士   小森谷 優

さいたま Diary

旧坂東家住宅 見沼くらしっく館

ここは復原した旧坂東家住宅を中心に、昔の農家を再現した博物館。ノスタルジックな雰囲気の中、ゆったりと過ごせます。昔遊びもいろいろ、寄席やギターコンサートも趣があっていいなあ。

アクセス 大宮駅よりバスで約25分

今号の表紙の場所は ● 見沼区

12月定例会を開催しています

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

傍聴

本会議は当日の受付で傍聴できます。開催当日、議会棟3階の議場ロビーまでお越しください。



インターネット中継

会議の様様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉  
令和2年1月12日(日) 午前10時～ 放送予定  
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

